



## 大会最少スコアの7アンダーを記録 時松源藏（筑紫ヶ丘）が初優勝



大会記録を更新しての初優勝に喜びの時松源藏

最終日は3日、福岡県北九州市の小倉カンツリー倶楽部（6868 ヤード、パー72）で最終ラウンドが行われ、福岡・冲学園高3年、時松源藏（筑紫ヶ丘）が通算7アンダー、281 で初優勝した。時松は公式戦（GUK競技）初勝利で、7アンダーは09年に尾方友彦（グリーンランドリゾート）が出した5アンダーを更新する大会最少スコア。

時松は3日目に通算8アンダー、208で単独トップに立ち、独走態勢を築いたかに思えた。しかし最終日、プレッシャーからか1バーディー、2ボギーの73とスコアを伸ばしきれなかった。一方、4打差の2位で最終日スタートの宮崎・日章学園高2年、香妻陣一朗（宮崎レイクサイド）は激しく追い上げ、一時は1打差に迫まったものの、16番でボギーとした後、17、18番と連続ボギーを打って自滅。終わってみれば時松が3打差をつけての逃げ切り勝利となった。

また、ジュニア勢に食らいついていた33歳の中堅、日高雅司（宮崎国際）は2つスコアを落としたものの、通算1アンダー、287で単独3位をキープした。さらに2打差の4位には嘉数光倫（阿蘇）、さらに2打差の5位に北九州市・一ツ葉高1年の千葉蒼隼（若松）。前年優勝の福岡・冲学園高2年、三重野里斗（大分）は、今大会冴えず通算8オーバーで10位タイに終わった。

この競技の結果、第96回日本アマチュア選手権競技（7月5日から5日間、愛知県・三好CC西コース）には10位タイまでの12人と、マッチングスコアカード方式で選抜された13位タイの1人の計13人が出場権を得た。

2011九州オープン選手権競技（9月2日から3日間、大分CC月形）には上位40人、今年新設された九州ミッドアマチュア選手権競技（10月19～20日、福岡CC）へは30歳以上の上位40人が出場資格を得た。

## 競い合ったジュニア対決



健闘をたたえあうライバル  
時松Ⓒと香妻Ⓒ

ジュニアのライバル対決はし烈だった。

4打差をつける8アンダーでのスタート。楽々の逃げ切りかと思われた。ところが、追う身の強さである。香妻がジリτζジリと詰め寄り、15番ではボギーをたたいた時松に、パーを拾った香妻が1打差に迫った。

がしかし、だった。16番で香妻が2段グリーンの下に乗せて寄せきれずにボギー。「あれを入れとけば…」と悔やんだが、続く17番でも10mのファーストパットを打ちきれずにボギーとしてしまい、万事休した。

「追う立場でとらえきれなかった。攻めるところで攻めきれないと」と反省する香妻。後は、「日本アマで」と目標を切り替える。

時松も、4打差の貯金の割にはバタバタした感じが否めなかった。

初のビッグタイトルへのプレッシャーからか、石川遼にもうならせたパットの名手が、「スムーズに手が動かなかった」と言う。16番で10mからを2パットのパーでしのぎ、「あれで勝てたかな」と思ったものの、最終18番でボギーとして73のスコア。「(優勝して)とても笑えなかった」そうだ。

JGAのナショナルチーム入り。3年生になって高校のチーム主将に。さらに、昨年後輩に九州アマ優勝の先陣を切られた悔しさもある。その時松が4日間を7アンダーを記録したのはもちろん立派な成績だ。自身も、「昨年よりも練習量を増やした結果が出てくれた」と言い、恩師でもある篠塚武久氏も「このコースは無理をすると危ない。よく粘ったと思いますよ」と評価した。

次は、日本アマ。「ベスト8以内に」とナショナルメンバーの意地をかけて臨むつもりだ。

沖学園高にとっては女子選手権初優勝の3年、城間絵梨(福岡レイクサイド)と九州選手権アベック優勝。時松は、「将来は石川遼選手のような(強くみんなに愛される)プロになりたい。とりあえずはアマできちんと結果を出すこと」と言い切った。(K)

○…ジュニア勢に挟まれて最終組でラウンドの中堅の日高雅司。通算でもアンダーパーをマークして3位をキープしたが、ほとほと疲れた、といった表情。「ショット、パットともあの2人(時松と香妻)に…。けど、十分納得いく結果だと思います」と笑顔を見せてくれた。九州アマでは過去最高位で初の日本アマ切符を手にした。「自分のゴルフをしてきたい」と話してくれた。○…同じ中堅、39歳の荒川英二(福岡雷山) トップ10が目標だったから、上出来です。(6位タイで2年ぶりの日本アマ出場に)ぜひともマッチプレーまで行きたい。



ジュニアに挟まれながらも3  
位と善戦した日高雅司



## 時松源藏（筑紫ヶ丘）が8アンダーで独走

### 中堅の日高雅司（宮崎国際）も5打差3位に踏みとどまる

2日から決勝ラウンドが始まり、ボギーなしの4バーディー、68とベストスコアの福岡・沖学園高3年、時松源藏(筑紫ヶ丘)が通算8アンダー、208で単独トップに立った。時松は今年から日本ゴルフ協会(JGA)のナショナルチーム入り。この日やはりボギーなしの69で回った宮崎・日章学園高2年、香妻陣一朗(宮崎レイクサイド)が4打差で、前日の6位から単独2位に浮上した。2日目首位に並んでいた33歳の中堅、日高雅司(宮崎国際)は1つスコアを落としたものの、通算3アンダーで単独3位と踏みとどまった。



(C)GUK

8アンダーで首位を独走する  
時松源藏

会場の北九州市小倉カンツリー倶楽部(6868ヤ、パー72)には予選を通過した83選手が出場。曇りで気温24.6度、北北西の風2.7m(正午現在)と絶好のコンディションの中だったが、難しいピンの位置にスコアを崩す選手が続出。アンダーパーでラウンドしたのは4人で、通算でのアンダーパーも3人だけになった。

通算1オーバー、217の4位は専大1年の18歳・小浦和也(宮崎国際空港)で、さらに1打差の5位タイに39歳の荒川英二(福岡雷山)、福岡・沖学園高2年の坂牧一静(皐月)、北九州・一ツ葉高1年、15歳の千葉蒼隼(若松)の3人。前年優勝の福岡・沖学園高2年の三重野里斗(大分)は通算6オーバーの15位タイにつけている。



(C)GUK

3位に踏みとどまった日高雅司

## 最終日最終組はジュニア vs 中堅

最終日の3日は時松、香妻のジュニア2人と中堅の日高が最終組(9:22スタート予定)で対決。このところ、ジュニア勢に席卷された感がある九州アマチュア選手権で、中堅選手の巻き返しが見られるか、注目される。

### 3者3様の最終組

○…ジュニア対中堅の対決となった最終日。「いやあ、(時松君は)ゴルフの内容はベテランですよ」と日高が言えば、香妻は「運が良ければ狙っていききたい」と闘志を見せ、当の時松は「あすもノーボギーで優勝争いに絡んでいきたい」とまずは控えめの抱負で3者3様だった。

日高はこの日、前半凌いでパープレー。後半2バーディー、3ボギーと1つ落とした。「4番で2m(のバーディーパット)を打ちきれずショート、波に乗りそこなった」と振り返る。全体的にはショット、パットとも「まあまあ」とかで、もちろん首位に5打差をあきらめているわけではない。「明日は、気持ちの問題。自分のゴルフをするだけです」と、逆転にかける。



2位に浮上した  
香妻陣一朗

一方のジュニア組は、この大会パット好調の香妻はボギーなしのラウンド。しかし、「ティーショットがちょっと芯を外しぎみ」とかで、「このあと練習して調整します」。最終日は、昨年がプレーオフに絡めなかっただけに、「意識しないで…」とひそかに燃えた表情。

そして、首位を走る時松。「短いパットがしっかり入っているので、スコアを落としていない」。ショットも、「大きなミスは1つだけ」と言う。それは8番(パー5)で左の木に当て、ラフから刻んでしっかりパーをキープしたものの、稼ぎどころのロングでのパーを悔やむ。しかし、全体的には「ショット、パットもそう悪くない」と言い、今年JGAのナショナルチームメンバーにも選ばれたことでもあり、いずれはプロ入りも視野に入れるだけに、欲しいタイトルに違いない。

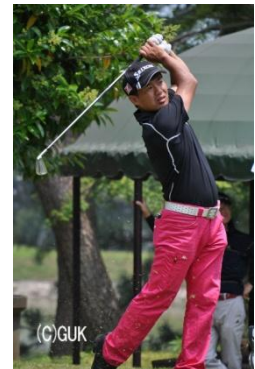
09年に尾方友彦(グリーンランドリゾート)が記録した5アンダーの大会記録を塗り替えての九州選手権初タイトルとなるか、見届けたい。(K)

### 5位タイの3選手の話

**荒川英二** (この日4バーディー、5ボギーの1オーバー) 良く踏みとどまった。最終日はアンダーパーで1つでも上に行けるようにしたい。

**坂牧一静** (1、2番で3パット) 流れが悪かった…。

**千葉蒼隼** セカンドショットの距離勘も合わなかった。けど、まだ大丈夫。あきらめない。



5位タイの  
荒川英二



## 沖学園高3年の時松源藏（筑紫ヶ丘）と 33歳の日高雅司（宮崎国際）が首位に並ぶ



首位タイに浮上した  
時松源藏

2日目は第2ラウンドが行われ、通算4アンダーの140で福岡・沖学園高3年の時松源藏（筑紫ヶ丘）と、33歳の中堅、日高雅司（宮崎国際）の2人が首位に並んだ。2打差の3位タイに専大1年、小浦和也（宮崎国際空港）、地元北九州のツ場高1年、15歳の千葉蒼隼（若松）、福岡・沖学園高2年、16歳の坂牧一静（皐月）の3人がつけた。

### ジュニア勢が来た

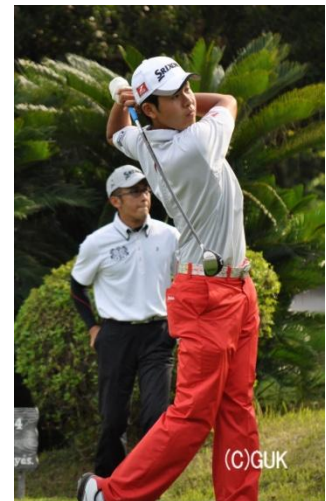
曇りで気温24.1度、北北西の風2.5mと絶好のコンディション。時松は前半2バーディーの後、後半も1つ伸ばし、ボギーなしの3アンダー、69で回り初日の7位タイから浮上。これに、初日同様、70と安定した日高が並んだ。

ジュニア勢はこのほか、宮崎・日章学園高2年、香妻陣一朗（宮崎レイクサイド）が70で回り12位タイから6位へ上げた。

初日首位の荒川英二（福岡雷山）はこの日4オーバーの76とし、通算1オーバー、145の8位タイに後退。08年九州オープン、09年九州アマの覇者、日大4年の尾方友彦（グリーンランドリゾート）が70で回り、初日の33位タイから8位タイに浮上した。

2位タイにつけていたシニアの青木英樹（佐賀ロイヤル）は82と崩れ、35位タイ。

この日で予選が終わり、通算13オーバー、157、78位タイまでの83人が2日からの決勝Rに進出した。



3位タイの  
坂牧一静

### 主な選手の話

**首位タイに並んだ時松源藏** 昨日のラウンド後にショートアイアンを100球練習した。おかげで今日はアプローチが良いところについた。3パットもなかった。明日は、オーバーパーを打たない、崩さない、あきらめない、くじけないの気持ちで挑みます。

**69で回り3位タイに浮上した18歳の小浦和也** ティーショットに気を使い、パッティングのタッチに気を付けた。明日は、パーを拾っていくゴルフで、オーバーパーを打たないこと。

**3位タイ浮上の坂牧一静** （8バーディー、1ダブルボギー、3ボギーの69）パー5で3つ取れたけど、3パットが2回（2日間で6）。明日からは、昨年の2位のもう一つ上を狙っていく。



地元の高校1年生の千葉蒼隼 去年までは距離よりも曲がらないゴルフだったけど、今年は飛距離も伸びた。後2日、目標は毎日アンダーで回る事です。

**初日の首位から8位タイへ後退** (前半3オーバーで貯金をなくした後の後半1オーバー) 後半は我慢のゴルフで拾いまくったけど、ショットが悪くなるとパットもと悪循環だった。明日は何とか巻き返したい。

6位に浮上した香妻陣一郎



## 九アマ開幕

# 39歳のベテラン、荒川英二（福岡雷山）が 3アンダーで単独トップ

シニアも健闘、1打差で青木英樹（佐賀ロイヤル）、野上英司（ミッションバレー）



単独首位に立った荒川英二

平成23年度(第41回)「九州アマチュア選手権競技決勝」の第1Rは31日、福岡県北九州市の小倉カントリー倶楽部(6868坪、パー72)で行われ、39歳の荒川英二(福岡雷山)が3アンダー、69で単独トップに立った。1打差の2位タイには59歳の青木英樹(佐賀ロイヤル)や53歳の野上英司(ミッションバレー)のシニア選手、33歳の中堅、日高雅司(宮崎国際)、28歳の松尾真吾(オーシャンパレス)、20歳の若手、梶原英明(天瀬温泉)の5人が並び、さらに1打差の7位タイに福岡・沖学園高3年、時松源藏(筑紫ヶ丘)ら4人がつけた。

## 4打差に25人の混戦

九州各県地区の1、2次予選を通過した選手ら166人うち欠場2人)がエントリー。曇りで気温20度、北東の風2m。台風2号の影響も大したことなく、好コンディションの中で行われた。

アウトスタートの荒川は前半1アンダーのあと、後半は10、11、17番でバーディー。トータル4バーディー、1ボギーでラウンド、後続を待った。これを青木、野上の両ベテランがともに4バーディー、2ボギーの70で回り、1打差とした。



2位タイの日高雅司

## ジュニア勢は

### ナショナルメンバー入りの時松源藏（筑紫ヶ丘）が2打差の好位置

昨年、15歳旋風を巻き起こした注目のジュニア組は、今年、初めてのナショナルチーム入りを果たした時松が2打差で好位置に付けたほか、昨年プレーオフを争った福岡・沖学園高2年、坂牧一静（皐月）が宮崎・日章学園高2年、香妻陣一郎（宮崎レイクサイド）とともに首位に4打差、73の12位タイにつけた。前年優勝の福岡・沖学園高2年、三重野里斗（大分）は2オーバー、74で26位タイとやや出遅れた。

#### 主な選手の話

**単独首位に立った荒川英二** ここは正確性が求められるコース。今日はパターもよかったし、落ち着いてできたと思う。今大会の目標は、トップ10に入って、日本アマに出ること。

**8月で還暦の青木英樹** 後半の15番でダボをたたくなどしたが、全体的にはまずまずの初日だったと思う。明日はそうですわね、スタミナ切れして予選落ちしないように…ハハハ。

**野上3兄弟の長兄の英司** ショット、パットともよかった。最近仕事が忙しくてあまり練習できていなかったが、それがかえって集中できたのかな。あと3日、うまくかみあったゴルフができれば…。



**ゴルフ部の主将になった時松源藏** ショットで大きなミスがなかったし、我慢のゴルフができた。後輩に先行された（昨年の九州アマ）ことや、自分もナショナルチームに初めて選ばれ練習量が増えた。今年は結果を出したい。明日は最悪でもアンダーで回りたい。

**前年覇者の三重野里斗** ショットが安定せず、バンカーによく捕まった。13番ではOBも出た。距離感もだけど、方向性が良くなかった。練習Rは良かったんですけどね。きっちり修正して2Rに臨みたい。

**福岡第一高卒でプロを目指す18歳秋山卓也** 4バーディー、3ボギー。1パットが5回で3パット2回。終盤はショットも良くなったし、（優勝を）狙えれば狙いたい。

2打差の好位置につけた  
時松源藏





栄冠は誰の手に  
九州アマ優勝カップ

## 予選通過者ら計 166 人が出場 九アマ 明日から小倉CCで開催

平成 23 年度 (第 41 回) 「九州アマチュア選手権競技決勝」が 31 日から 6 月 3 日までの 4 日間、福岡県北九州市の小倉カンツリー倶楽部 (6868 〒、パー72) で開かれる。

11 県地区で開かれた第 1 次予選には Hdcp12.4 までの計 1460 人が参加。この中からさらに第 2 次予選 (沖縄県地区のみ 1、2 次同時実施) をクリアした 140 人が本戦 (決勝大会) 出場を決めた。これに各種シード選手を合わせた計 166 人がエントリー、4 日間、計 72 ホールストロークプレーで争う。

前回大会では当時 15 歳、福岡・沖学園高 1 年の三重野里斗 (大分) が、同校の同級生、坂牧一静 (皐月) をプレーオフで下し史上最年少優勝を果たしたほか、3 位も宮崎・日章学園高 1 年、香妻陣一朗 (宮崎レイクサイド) が入るなど、上位を高 1 の 15 歳が独占した。

今大会はどうか。久しぶりに九州からナショナルチーム入りした福岡・沖学園高 3 年、時松源藏 (筑紫ヶ丘) に期待が高まる。

さらには、九州オープン (08 年)、九州アマ (09 年) を制した後、不調だった尾方友彦 (グリーンランドリゾート) の復調が見られるのか。はたまた、ベテラン勢の巻き返しになるのか。

会場の小倉CCはコース設計の第一人者、上田治氏の手になるもので、昭和 36 年 (1961 年) に開場した伝統あるコース。都市近郊にある丘陵コースで、ホールをセパレートする樹林がフェアウエーを引き締めている。距離はあまりないものの、変化があって、ことにインは戦略性が高い。

初日の第 1 R は 31 日午前 7 時 30 分、アウト、インから同時にスタートする。